

「延岡合衆国北浦地域振興プラン(案)」に関する意見一覧及び回答

No	意見の概要	回答
1	<p>普段はマイカーで動くのですが、法事やお祭りや外食したい時などに、お酒を飲んだら帰れなくなってしまうので、北浦町に1台くらいは、タクシーなどを常駐させてほしいと願います。北浦町の地域振興にもつながると考えます。</p>	<p>移動手段の確保が課題であるため、地域振興プランではコミュニティバス等の公共交通の充実や外出支援サービスへの支援を図ることとしています。</p> <p>ご意見にあるタクシーや代行運転については、民間の事業者が行うことだと考えておりますが、まずはタクシー事業者に投げかけてみたいと考えております。</p>
2	<p>(17ページ)基本方針1 主な施策(1) 取組方針②「農業の多様な担い手の育成・確保」 『地元小中学生による農業体験学習・「農育」と地元の食材を使った料理を学ぶ・「食育」を推進し、地元の食材を給食に取り入れる取り組みを推進する。』を追加したほうがよい。</p>	<p>計画では、「地産地消・地活等の推進」や「地域と連携した教育環境の整備」を掲げており、今後これらの取組とともに、延岡市食育・地産地消推進計画における、「生産者や農業団体等による食育教育や学校給食における地場産品の利用推進」について取り組んでまいります。</p>
3	<p>(19ページ)基本方針1 主な施策(1) 取組方針⑤「持続可能な循環型林業の推進」 『地元の工務店と製材所などを繋げて、「地元の木を使って、立てたい」というニーズを掘り起こす「地元の木でお家づくりプロジェクト」を立ち上げる。(福岡県などの取り組みを参考に)』を追加したほうがよい。</p>	<p>地域振興プランの上位の計画となる延岡市第6次長期総合計画後期基本計画において、延岡産材の利用拡大のために素材生産・加工・製造・流通等の関係者が一体となってサプライチェーンの構築を目指し取り組むとしています。</p> <p>北浦地域においても長期総合計画に基づいて関係機関と連携し、地元延岡産材の利用拡大に取り組めます。</p>
4	<p>(21ページ)基本方針1 主な施策(1) 取組方針⑨「水産業の生産基盤整備」 『市振港を「小型船舶にもやさしい港」に整備するため、小型船舶専用の浮棧橋などを導入し、高齢になっても、漁ができる環境整備推進する。』を追加したほうがよい。</p>	<p>漁港につきましては、法律上、また地域振興プランにもありますとおり、県が整備や維持管理を行うことになっております。</p> <p>今後県をはじめとする関係機関と連携し、今回のご意見も参考にさせていただき、水産業の振興や活性化に繋がる生産基盤整備に取り組むよう、必要に応じて働きかけてまいります。</p>
5	<p>(25ページ)基本方針1 主な施策(2) 取組方針②「歴史遺産や伝統文化の活用と魅力の発信によるまちづくりの推進」 『集落ごとの観光マップを地元の子供たち(小中学生から高校生)と一緒に作るプロジェクトを立ち上げる。』を追加したほうがよい。</p>	<p>ご意見にある内容は、地域振興プラン35ページの取組方針②「地域と連携した教育環境の整備」や40ページの取組方針①「地域を担う人材や団体等の育成」にも関連し、子どものころから、地域の歴史や伝統を学ぶことは、地域への愛着を深め、将来的には地域人材の育成や地域活性化に繋がるものと考えます。</p> <p>今後ご意見を参考に、個別の取組のなかで検討させていただきたいと考えます。</p>

6	<p>(26ページ)基本方針1 主な施策(2) 取組方針④「地域資源を活かした体験型観光の推進」</p> <p>『町内の民泊を増やす取り組みを推進する。』を追加したほうがよい。</p>	<p>地域振興プランの26ページの基本方針④の具体的な取組に記載していますとおり、交流人口の増加に取り組む中で宿泊施設の不足が懸念されることから、民泊などの宿泊施設の確保に取り組むこととしております。</p>
7	<p>(31ページ)基本方針2 主な施策(1) 取組方針③「港湾・漁港の維持管理と地震津波対策」</p> <p>『国道 388 号線ハイ付近(標高が高いところ)の道路沿いに、給油所(ガソリンスタンド)を建設し、その運営は地元に住するものに委託する。さらに災害支援物質の貯蔵庫も併設し、被災時の燃料及び支援物資の供給基地としての機能を持たせる施設の整備を行う。』を追加したほうがよい。</p>	<p>新たなガソリンスタンドを地域の方々の経営により設けることについては、地域におけるコンセンサスがまず必要と考えられますので、今後、機会を見つけて地域の方々のご意見を聴きたいと思っております。</p> <p>また、延岡市では、延岡市地域防災計画に基づき災害時の備蓄及び資機材の調達に関する事業者との応援協定に基づき調達体制の整備に取り組んでいるところです。また、北浦地域におきましては、阿蘇地区をはじめ海岸地区に災害時の備蓄倉庫の整備を行っていますが、地域振興プランにもありますとおり、海と山に囲まれ、地理的、自然的な条件から災害被害を受けやすい環境にあることから、延岡市地域防災計画に基づき、引き続き地域の実情にあわせた災害対策に取り組んでまいりたいと考えております。</p>
8	<p>(30ページ)基本方針2 主な施策(1) 取組方針①「道路の維持管理」</p> <p>『国道 388 号線は、延岡への重要な主要道路であるが、現在、浦城—川島間が標高 160m 程度の峠を越えるルートとなっており、この区間が流通のネックとなっている。また、この区間は唯一、歩道の整備がなされていない。この区間を標高 40m 程度のトンネルを建設することで道は平坦となり、交通の高速化、効率化でき、エネルギー消費の極めて少なくなる。また、高校生などの自転車通学の可能性も視野に入ってくる。延岡の北浦の交通がますます増大する可能性を秘めた、新たなバイパス道路の建設に向けた推進運動を展開する。』を追加したほうがよい。</p>	<p>地域の活性化のためには、地域をつなぐ道路整備も重要であると考えますが、北浦—延岡間には自動車専用道路の無料区間が整備されている状況にあります。</p> <p>ご意見にあるように国道388号(川島～浦城区間)は高低差があり歩道が整備されていない区間もごございますが、ご提案のバイパス道路の建設につきましては、橋梁やトンネル整備等が必要となり、事業費が膨大となることが予想されますので、費用対効果等、様々な検討を行う必要があると考えられます。</p> <p>また国道であるため、国・県が整備主体となりますが、その検討に当たっては、北浦地域だけではなく、国・県も含めた全体的な道路整備計画のなかで検討されるものであると考えますので、ご意見につきましては、今後そのような計画策定の際の国・県との協議における参考とさせていただきます。</p>